

CDX-497

CDプレーヤー

ヤマハCDプレーヤーCDX-497をお買い上げ
いただきまして、まことにありがとうございます。
す。

- 本機の優れた性能を永年支障なくご愛用いただくために、この取扱説明書をご使用の前にならずお読みくださいますようお願いいたします。お読みになったあとは、保証書とともに保管してください。
- 保証書は、『お買い上げ日、販売店名』などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

取扱説明書

安全上のご注意

ご使用前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	「～しないでください」という「禁止」を示します。
	「必ず実行してください」という強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさや切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。



警告

この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。



警告

電源/電源コード



必ず実行

電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。

万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。



プラグを抜く

下記の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

● 異常なおいや音が出る。 ● 煙が出る。

● 内部に水や異物が混入した。

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけない。

● 重いものを上に載せない。

● ステープルで止めない。 ● 加工をしない。

● 熱器具には近づけない。 ● 無理な力を加えない。

芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



必ず実行

必ずAC100V(50/60Hz)の電源電圧で使用する。

それ以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。

電池



禁止

電池を充電しない。

電池の破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



禁止

電池からもれ出た液には直接触れない。

液が目や口に入ったり、皮膚についたりした場合はすぐに水で洗い流し、医師に相談してください。

分解禁止



分解禁止

分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。

火災や感電の原因になります。

修理および調整は販売店にご依頼ください。

設置



水ぬれ禁止

本機を下記の場所には設置しない。

- 浴室・台所・海岸・水辺
 - 加湿器を過度にきかせた部屋
 - 雨や雪、水がかかるところ
- 水の混入により、火災や感電の原因になります。



禁止

放熱のため、本機を設置する際には：

- 布やテーブルクロスをかけない。
 - 仰向けや横倒しには設置しない。
 - 通気性の悪い狭いところへは押し込まない。
(本機の周囲に左右10cm、上10cm、背面10cm以上の、スペースを確保する。)
- 本機の内部に熱がこもり、火災の原因になります。

使用上の注意



接触禁止

雷が鳴りはじめたら、電源プラグには触れない。
感電の原因になります。



必ず実行

本機を落としたり、本機が破損した場合には、必ず販売店に点検や修理を依頼する。

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



禁止

ディスクの挿入口や、放熱用の通風孔、パネルのすき間から金属や紙片など異物を入れない。

火災や感電の原因になります。



禁止

本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ろうソクなどを置かない。

水や異物が中に入ると、火災や感電の原因になります。接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因になります。



手を挟まないよう注意

ディスクをセットする際は、手をディスクトレイに挟まれないよう注意する。

閉めるときに挟まれて、けがの原因になります。

手入れ



必ず実行

電源プラグのゴミやほこりは、定期的に取り除く。ほこりがたまったまま使用を続けると、プラグがショートして火災や感電の原因になります。

⚠ 注意

電源/電源コード



プラグを抜く

長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

火災や感電の原因になります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因になります。



禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードをひっぱらない。

コードが傷つき、火災や感電の原因になります。



必ず実行

電源プラグは、コンセントの根元まで、確実に差し込む。

差し込みが不十分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因になります。



禁止

電源プラグを差し込んだとき、ゆるみがあるコンセントは使用しない。

感電や発熱および火災の原因になります。

電池



必ず実行

電池は極性表示(プラス+とマイナス-)に従って、正しく入れる。

間違えると破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



禁止

指定以外の電池は使用しない。また、種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。

破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



禁止

電池と金属片をいっしょにポケットやバッグなどに入れて携帯、保管しない。

電池がショートし、破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



電池を加熱・分解したり、火や水の中へ入れない。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

禁止



使い切った電池は、すぐに電池ケースから取り外す。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

必ず実行



使い切った電池は、自治体の条例または取り決めに従って廃棄する。

必ず実行

設置



不安定な場所や振動する場所には設置しない。
本機が落下や転倒して、けがの原因になります。

禁止



直射日光のあたる場所や、温度が異常に高くなる場所(暖房機のそばなど)には設置しない。
本機の外装が変形したり内部回路への悪影響が生じて、火災の原因になります。

禁止



ほこりや湿気が多い場所に設置しない。
ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因になります。

禁止



他の電気製品とはできるだけ離して設置する。
本機はデジタル信号を扱います。他の電気製品に障害をあたえるおそれがあります。

必ず実行

移動



移動するときは、本機および接続機器の電源スイッチを切り、すべての接続コードを外す。
接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

プラグを抜く

使用上の注意



電源を入れる前や、再生を始める前には、アンプの音量(ボリューム)を最小にする。
突然大きな音が出て、聴覚障害の原因になります。

必ず実行



音が歪んだ状態で長時間使用しない。
スピーカーが発熱し、火災の原因になります。

禁止



環境温度が急激に変化したとき、本機に結露が発生することがあります。
正常に動作しないときは、電源を入れない状態でしばらく放置してください。

注意



大きな音で長時間ヘッドホンを使用しない。
聴覚障害の原因になります。

禁止



ディスクの挿入口には手を入れない。
本機のメカニズムに手を引き込まれ、けがの原因になります。

禁止



ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクを使用しない。
ディスクは、機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因になります。

禁止



レーザー光源をのぞき込まない。
レーザー光が目にあたると、視覚障害の原因になります。

禁止



業務用機器とは接続しない。
デジタルオーディオインターフェース規格は、民生用と業務用では異なります。本機は民生用のデジタルオーディオインターフェースに接続する目的で設計されています。業務用のデジタルオーディオインターフェース機器との接続は、本機の故障の原因となるばかりでなく、スピーカーを傷める原因になります。

禁止

手入れ



手入れをするときには、必ず電源プラグを抜く。
感電の原因になります。

必ず実行



薬物厳禁
ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また接点復活剤を使用しない。
外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

禁止



年に一度くらいは内部の掃除を販売店に依頼する。
ほこりがたまったまま使用を続けると、火災や故障の原因になります。

注意

目次

本機の特長	2	曲を順不同に聞く (ランダム演奏)	13
基本的な再生と対応ディスクについて	2	繰り返し演奏する (リピート演奏)	13
本機で再生できるディスク	3	指定した項目をリピート	13
取り扱いの注意	3	A-Bリピート	14
付属品の確認	4	好きな順序で聞く (プログラム演奏)	15
リモコンについて	4	インデックスサーチ	16
接続のしかた	5	本機のプログラム機能を使って	
各部の名称とはたらき	6	テープ録音する (テーププログラム)	17
フロントパネル	6	オートテーププログラム (Audio CDのみ) ...	17
ディスプレイ	6	マニュアルテーププログラム	
リモコン	7	(Audio CDのみ)	19
基本的な操作	8	ランダムテーププログラム	
一時的に演奏を止める	9	(Audio CDのみ)	20
演奏を停止する	9	ピークレベルサーチ (Audio CDのみ)	21
本機の電源を切る	9	本機の演奏に連動させて	
好きな曲を聞く (ダイレクト選曲)	9	テープ録音する (シンクロ録音)	22
MP3またはWMAディスクの		故障かな?と思ったら	23
フォルダ/ファイルを検索する	9	主な仕様	24
曲の頭出しをする		ヤマハホットライン	
(スキップサーチ)	10	サービスネットワーク	25
早送り、早戻しをする			
(スピードサーチ)	10		
ディスプレイの表示内容を切り替える	11		
ディスプレイの明るさを設定する	12		
オートスペース	12		
音声出力レベルを調整する	12		

音を楽しむエチケット



楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。

適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

本機の特長

- CD-R、CD-RWディスクの再生
(詳しくは、このページと3ページを参照してください。)
- MP3、WMAディスクの再生
- テープ録音に便利なテーププログラム機能
- 曲間に4秒間のスペース(空き時間)を自動的に挿入するオートスペース機能
- テープ録音時の録音レベル設定に便利なピークレベルサーチ機能
- デッキとの同時録音を可能にするシンクロ録音機能
- MDデッキなどでCDデジタル録音を可能にするデジタル(光/同軸)出力端子
- CD-TEXTディスクに記録された文字情報の表示

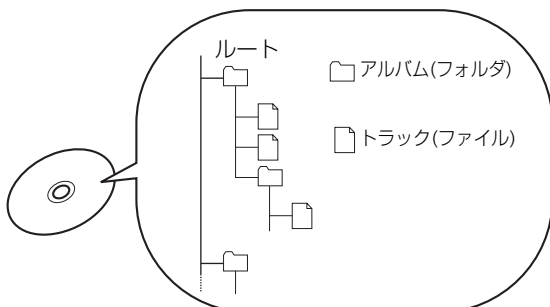
基本的な再生と対応ディスクについて

本機ではさまざまな音楽ディスクをお楽しみいただけますが、ディスクの種類により使用できる機能が異なります。この取扱説明書では、本機の機能が対応するディスクの種類を以下のアイコンで表しています。アイコンの表示がない場合はすべての種類のディスクに対応しています。なお、本機で再生が可能なディスクの種類についての詳細やディスクを取り扱う際のご注意については、「本機で再生できるディスク」および「取り扱いの注意」(3ページ)をご参照ください。

音楽 CD	MP3,WMA ディスク
Audio CD	MP3, WMA

MP3およびWMAディスクについて

本機ではCD-RやCD-RWに収録したMP3、WMAファイルを音楽CDと同様に再生することができます。この際、下図のようにフォルダはアルバム、ファイルはトラックとして認識されます



MP3とは?

MPEG-1 Audio Layer-3の略で、音声データを圧縮するフォーマットの一つです。音楽CDと同じレベルの音質を維持してデータ容量を圧縮することができます。また、ディスクによってはID3タグが記録されています。

* ID3タグとは、曲名、アーティスト名などのMP3ディスクに記録されているデータです。

ご注意

- 録音状態により録音されている順番どおりにトラックが再生されない場合があります。
- 本機は32/64/96/128/160/192/256/320kbpsのMP3ビットレートおよび可変ビットレートに対応しています。
- 本機は44.1/48kHzのサンプリング周波数に対応しています。
- 本機はISO9660フォーマットのディスクに対応しています。

WMAとは?

Windows Media Audioの略で、MP3と同様に音声データを圧縮するフォーマットの一つです。MP3よりも高い圧縮率で、データ容量を圧縮することができます。

ご注意

- 録音状態により録音されている順番どおりにトラックが再生されない場合があります。
- 本機は192kbps以下のWMAビットレートおよび可変ビットレートに対応しています。
- 本機は44.1kHzのサンプリング周波数に対応しています。
- 本機はISO9660フォーマットのディスクに対応しています。
- 本機では、著作権保護されたWMAファイルは再生できません。

本機で再生できるディスク

本機は、コンパクトディスク（オーディオCD）専用のプレーヤーです。

本機で再生する場合、下記のマークが付いたディスクを必ずご使用ください。

また、本機の性能を十分に生かすために、信頼できるディスクをご使用ください。



- ... **コンパクトディスク（オーディオCD）**
市販の音楽CDとして最もポピュラーなディスクです。



- ... **CD-R, CD-RWディスク**
ご自分で書き込んだCD-RやCD-RWを音楽CDとして再生できます。MP3またはWMA形式の音声も再生できます。



ご注意

- 信頼できるメーカーのディスクを必ずご使用ください。
- ディスクやケースに下記のいずれかの表示のあるディスクをご使用ください。
FOR CONSUMER
FOR CONSUMER USE
FOR MUSIC USE ONLY
- CD-RまたはCD-RWはファイナライズされたディスクのみ再生できます。



- ... **CD-TEXTディスク**
アルバム名、曲名、アーティスト名などの文字情報が記録されたディスクです。音楽再生は通常のプレーヤーでも可能ですが、文字情報はCD-TEXT対応プレーヤーでのみ表示が可能です。

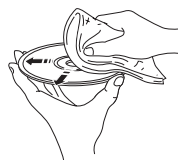
ご注意

- 上記以外のディスク（変形ディスクも含まれます。）はご使用にならないでください。
上記以外のコンパクトディスクを本機にセットしますと、正しく演奏できないばかりでなく、ディスクの破損や本機の故障の原因となる場合があります。
- 一部のCD-RWディスクや正しく録音されていないディスクは、本機では再生できない場合があります。

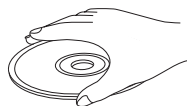


取り扱いの注意

- 記録面に指紋やほこりがついたときは、柔らかな布などで軽く内側中心から外側へ直角方向に拭いてください。ほこりや汚れは柔らかい布で軽く拭き取ってください。

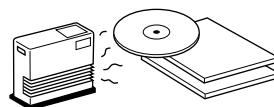


- レーベル面に紙など（レーベル面用のシールも含まれます。）を貼ったり、ボールペン等、先の固いもので文字を書いたりしないでください。
- 折り曲げたり、強い衝撃を与えたりしないよう注意して扱ってください。
- 信号記録面に傷をつけないよう、特にケースからの出し入れには注意してください。
- 演奏が終わったディスクは必ずケースに入れて保管してください。
- レコードスプレー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。また、水で拭くことも避けてください。
- できるだけコンパクトディスクの縁を持つようにして、表面に触れないように扱ってください。




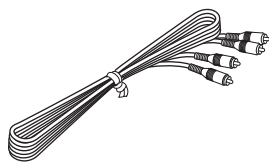
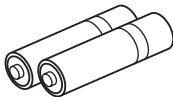
- ディスクにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがしたあとがあるものはお使いにならないでください。そのままプレーヤーにかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。
- 直射日光の当たる場所や、高温多湿な場所に長時間置くと、ディスクが変形したりして使用できなくなる原因となりますので、絶対に置かないでください。

注意！



付属品の確認

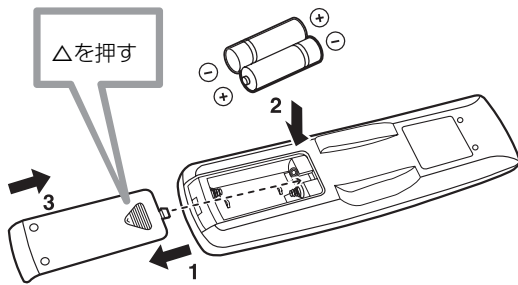
ご使用前に、付属品を確認してください。

<p>リモコン</p> 	<p>ステレオピンケーブル</p> 
	<p>単4乾電池（2本）</p> 

リモコンについて

電池交換のしかた

1. リモコンの裏のふたを矢印の向きにスライドさせてはずします。
2. 単4乾電池を2個、プラス+とマイナスの向きを確認して、表示どおりに正しく入れます。
3. 乾電池をセットしたらしっかりとふたを閉めます。



電池交換の時期は？

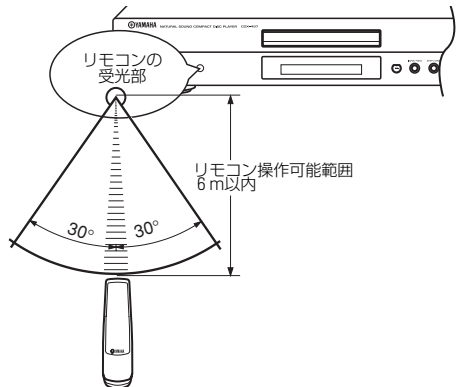
リモコンの操作できる距離が短くなってきたら乾電池が消耗しています。このときは、2本とも新しい乾電池に交換してください。

ご注意

- 単4乾電池をご使用ください。
- 新しい乾電池と、一度使用したものを混ぜて使用しないでください。
- アルカリやマンガンなど種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 充電式の乾電池はご使用になれません。
- ショート（乾電池のプラス+とマイナスを金属片で直接つなぐこと）はしないでください。
- 長い間リモコンを使わないときは、乾電池を取り出しておいてください。
- 万一液もれが起こったときは、電池入れについた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。

リモコンを使用する

リモコン信号は直進性の高い信号を使っています。リモコンと本体受光部の間に遮蔽物が入らないようご注意ください。

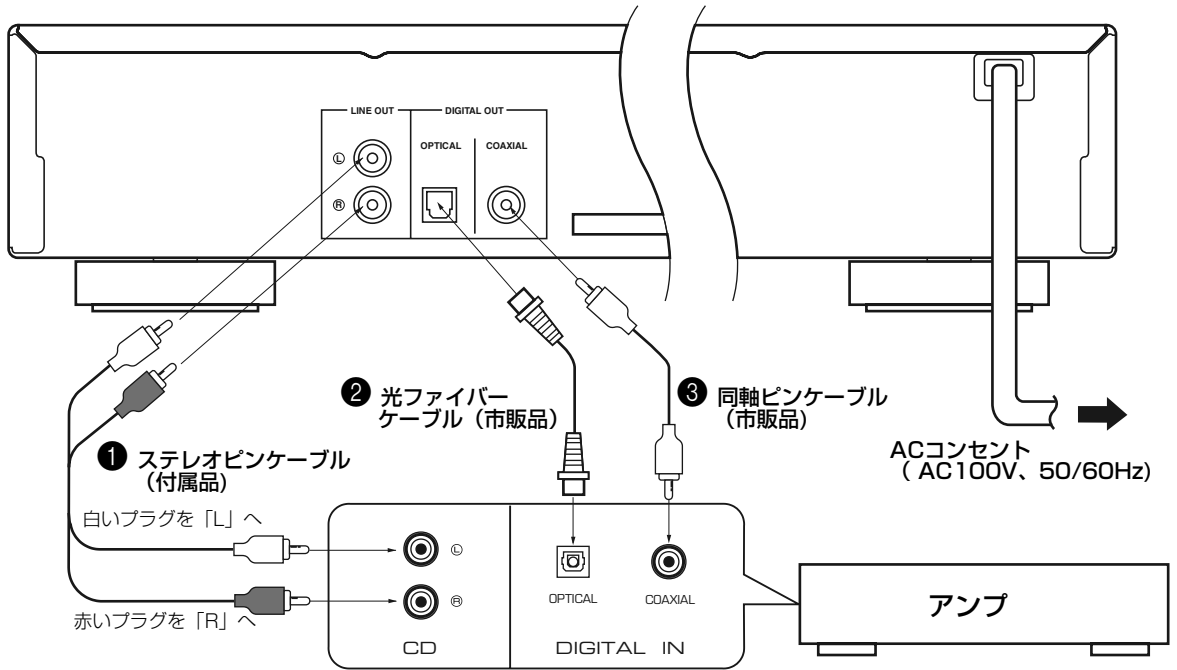


ご注意

- 付属品のリモコンはヤマハCDプレーヤー専用です。もし本機のリモコン操作によって誤作動をする機器があるときは、その機器の設置場所を変えてください。
- お茶や水をこぼしたり、落としたりしないようご注意ください。またストーブのそばやお風呂場など、温度や湿度の高いところに放置しないでください。
- リモコン受光部に、直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようご注意ください。強い光が当たっていると、リモコンが動作しなかったり、誤作動の原因となります。

接続のしかた

- 接続をはじめる前に、本機および接続する機器の電源コードが、ACコンセントに接続されていないことをご確認ください。
- 接続するアンプによっては端子名が異なるものがあります。接続するアンプの取扱説明書も参照してください。
- 本機による影響で他の機器からノイズが出る場合は、その機器と本機を離して設置してください。



■ 本機はアナログ (LINE OUT)、デジタル (DIGITAL OUT) の2系統の出力端子を装備しています。接続する機器に合わせて、使用する接続端子をお選びください。

- 各端子の音声出力レベルは**OUTPUT LEVEL+/-**を使って調節することができます。
- デジタル出力端子 (光/同軸) を使用するときには、**OUTPUT LEVEL+/-**を使って音声出力レベルを最大に設定してください。
- 本機のデジタル出力端子をデジタル録音機器 (MDレコーダーなど) のデジタル入力端子に接続すれば、CDのデジタル音声をデジタルのまま録音することができます。
- COAXIAL/OPTICAL端子を両方接続する必要はありません。いずれかの方法でデジタル接続してください。

アナログ出力端子に接続する場合 (①)

本機のLINE OUT端子と、アンプのCD (アナログ) 入力端子を付属のステレオピンケーブルを使って接続します。

* 右チャンネル (R)、左チャンネル (L) を正しく接続してください。

デジタル出力端子 (OPTICAL) に接続する場合 (②)

本機のDIGITAL OUT OPTICAL (光出力) と、アンプの光入力端子を市販の光ファイバーケーブルを使って接続します。

* 本機のDIGITAL OUT OPTICAL (光出力) 端子はEIAJ規格にもとづき設計されています。EIAJ規格を満たさない光ケーブルを使用しますと、正常に動作しないことがあります。

デジタル出力端子 (COAXIAL) に接続する場合 (③)

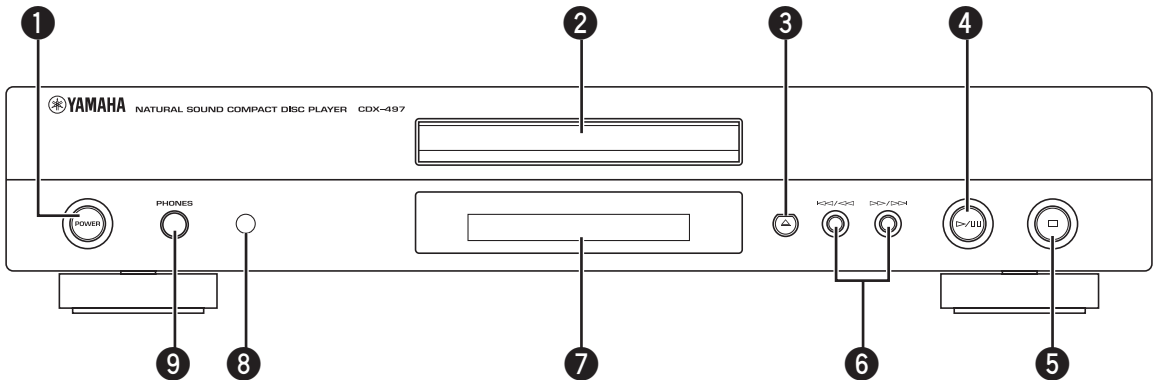
本機のDIGITAL OUT COAXIAL (同軸) 端子と、アンプのCD (デジタル同軸) 入力端子を、市販の同軸ピンケーブルを使って接続します。

■ 電源コードを接続する

すべての接続が終わってから、電源コードをACコンセントに接続してください。

各部の名称とはたらき

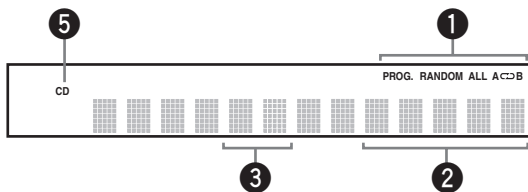
フロントパネル



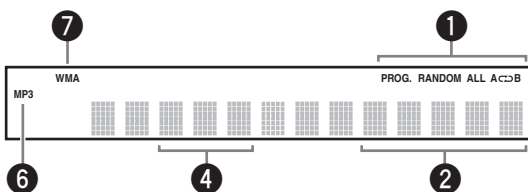
- ① POWER**
押すと電源が入り、もう一度押すと切れます。
- ② ディスクトレイ**
ディスクをセットするところです。△ を押すと開き、もう一度押すと閉じます。
- ③ △ (ディスク開閉)**
ディスクトレイを開閉するときに押します。
- ④ ▷/⏏ (スタート/一時停止)**
演奏をスタート/一時停止 (ポーズ) します。リモコンでは ▷ と ⏏ の2つに独立しています。
- ⑤ □ (停止)**
演奏を止めます。
- ⑥ ◀◀/▶▶ (スキップ/サーチ)**
押すごとに曲の頭出し (SKIP) ができ、押し続けると早送り、早戻し (SEARCH) ができます。プログラムのチェックなどにも使います。
- ⑦ ディスプレイ**
演奏状態や設定が表示されます。
- ⑧ リモコン受光部**
付属のリモコンからの信号を受ける窓です。
- ⑨ PHONESジャック**
ヘッドホン差し込みます。

ディスプレイ

Audio CD

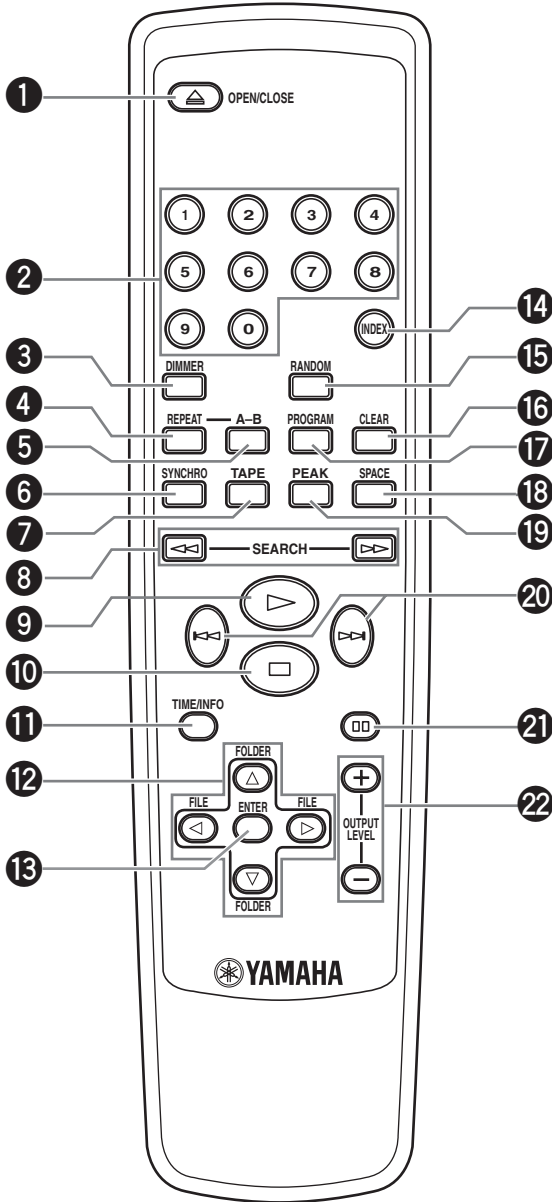


MP3, WMA



- ① 演奏モード表示**
演奏モードに応じて点灯します。
- ② ディスクに関する時間を表示します。**
- ③ 演奏または選択されている曲番号を表示します。**
- ④ ファイル番号を表示します。**
- ⑤ CD インジケータ**
音楽CDをセットすると点灯します。
- ⑥ MP3 インジケータ**
MP3ディスクを演奏しているときに点灯します。
- ⑦ WMA インジケータ**
WMAディスクを演奏しているときに点灯します。

リモコン



- ① **△ OPEN/CLOSE**
ディスクトレイを開閉するときに押します。
- ② **数字キー**
選曲やプログラムの設定時に曲番を指定します。
- ③ **DIMMER**
押すごとにディスプレイの明るさを切り替えます。

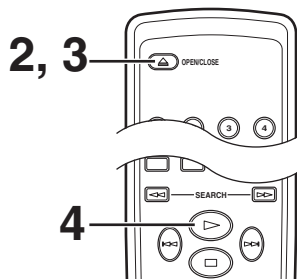
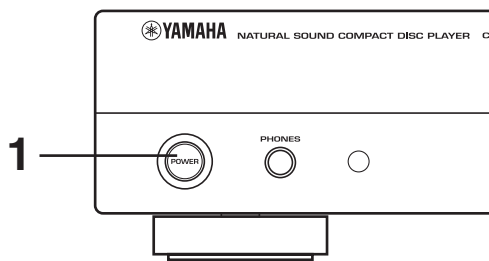
- ④ **REPEAT**
押すごとにリピートモードを切り替えます。
- ⑤ **A-B**
A-Bリピートを設定します。
- ⑥ **SYNCHRO**
カセットデッキとシンクロ録音をするときに使います。
- ⑦ **TAPE**
テーププログラムの設定時に使います。
- ⑧ **◀▶/▶ SEARCH**
押し続けると早送り、早戻し (SEARCH) します。
- ⑨ **▶ (スタート)**
演奏をスタートします。
- ⑩ **□ (停止)**
演奏を止めます。
- ⑪ **TIME/INFO**
押すごとにディスプレイの表示を切り替えます。
- ⑫ **カーソルキー**
MP3/WMAディスクのフォルダ、またはファイルを選択します。
- ⑬ **ENTER**
カーソルキーで選択したMP3/WMAディスクのフォルダの選択、またはファイルの再生をスタートします。
- ⑭ **INDEX**
インデックスサーチをするときに使います。
- ⑮ **RANDOM**
ランダム演奏を設定します。
- ⑯ **CLEAR**
プログラム演奏を解除します。
- ⑰ **PROGRAM**
プログラム演奏の設定をするときや、プログラムした曲を確認するときなどに使います。
- ⑱ **SPACE**
曲間に4秒間のスペース (空き時間) を入れます。
- ⑲ **PEAK**
ディスク内の最大音量箇所をさがすときに使います。
- ⑳ **◀▶/▶ (スキップ)**
押すごとに曲の頭出し (SKIP) ができます。プログラムのチェックなどにも使います。
- ㉑ **⏸ (一時停止)**
演奏を一時停止 (ポーズ) します。
- ㉒ **OUTPUT LEVEL +/-**
+ (プラス) を押すと本機背面の出力端子からの音声出力レベルとヘッドホンの音声が大きくなり、- (マイナス) を押すと小さくなります。

ご注意

工場出荷時の音声出力レベルは最大に設定されています。

本書はリモコンによる操作を中心に説明しています。
 本体のフロントパネル上で操作する場合は対応するキーをご使用ください。

基本的な操作

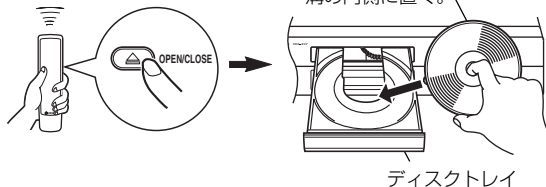


1 POWER を押し、電源を入れます。



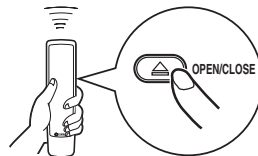
2 △ OPEN/CLOSE を押してディスクトレイを開け、ディスクをセットします。

レーベル面を上にして、溝の内側に置く。

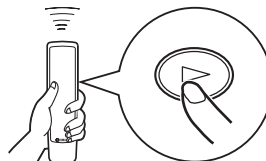


* 8 cmCDはディスクトレイの内側の溝に合わせてセットします。

3 △ OPEN/CLOSE を押し、ディスクトレイを閉じます。



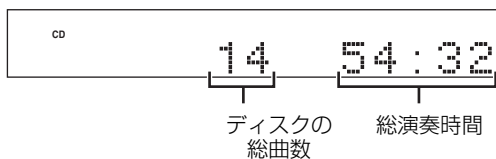
4 ▷ を押し、ディスクの最初の曲から演奏がはじまります。



総演奏時間の表示について

- △ OPEN/CLOSE を押してディスクトレイを閉じると、以下の情報が表示されます。

Audio CD



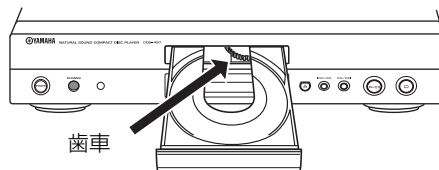
MP3, WMA



- ▷、数字キー、RANDOM を押したとき、またはディスクトレイを手で押して閉じたときは演奏が自動的にはじまり、総曲数、総演奏時間は表示されません。

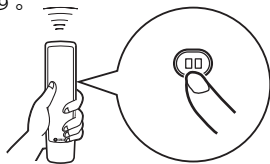
ご注意

ディスクトレイが開いているときは、内部の歯車には絶対に触れないでください。もし歯車に触れますと、ディスクトレイが閉まり、指を挟まれてけがの原因となることがあります。



一時的に演奏を止める

00 を押します。

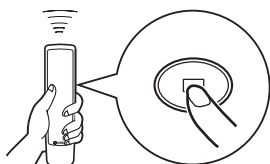


押したところで一時停止（ポーズ）になります。再び演奏をはじめめるには ▷（または 00）を押します。

* 一時停止中は演奏時間表示の「:」が点滅します。

演奏を停止する

□ を押します。



本機の電源を切る

もう一度 POWER を押します。

* ディスクトレイにディスクがセットされたまま電源を切ると、次に電源を入れたとき、最初の曲から演奏がはじまります。

好きな曲を聞く（ダイレクト選曲）

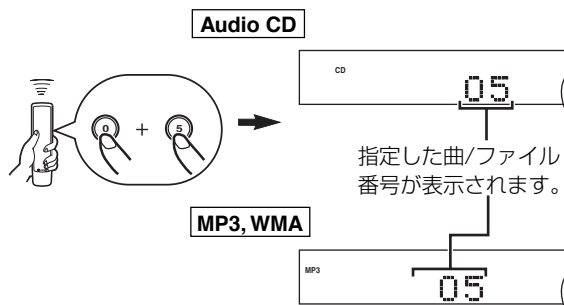
数字キーで曲番を指定します。指定した曲の演奏がはじまります。

（例）指定したい曲番が、5のとき：

「0」を押したあと、「5」を押します。

* ファイル数が100曲以上のMP3またはWMAディスクの場合は「0」を2回押したあと、「5」を押します。

* 局番のみを押すと、数秒後に演奏が始まります。



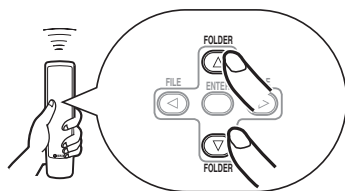
* MP3ディスクの表示例です。

* ファイル番号はフォルダごとではなく、ディスク全体で識別されます。よって、表示されるファイル番号はディスクの曲順と一致します。

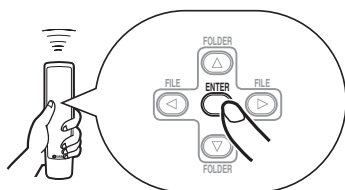
MP3またはWMAディスクのフォルダ/ファイルを検索する

カーソルキーでフォルダやファイルを指定して演奏することができます。

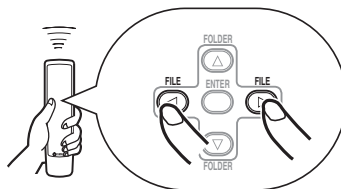
1 FOLDER ▽/△ を押してフォルダを選びます。



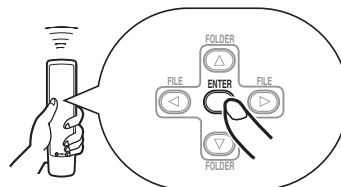
2 ENTER を押します。



3 FILE ◀/▶ を押して演奏したいファイルを選びます。



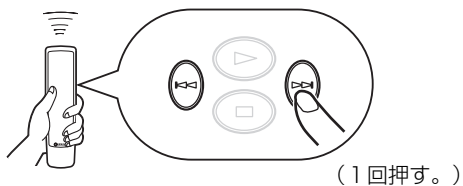
4 ENTER を押します。



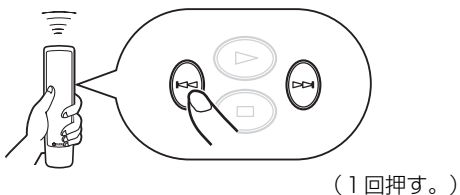
指定されたファイルの演奏がはじまります。

曲の頭出しをする（スキップサーチ）

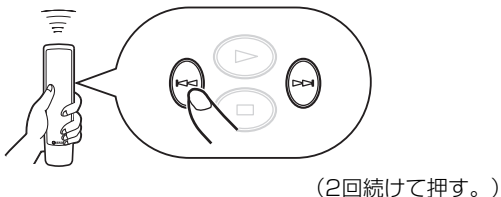
次の曲を聞くには



演奏中の曲を最後から聞くには



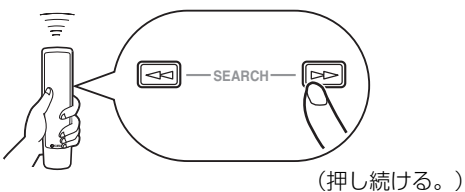
前の曲を聞くには



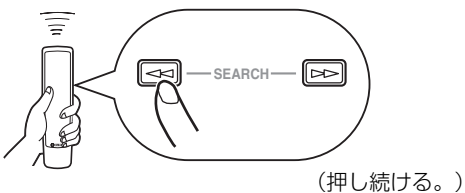
- 曲の頭出しはポーズ中や停止中でもできます。
- リモコンの◀◀または▶▶を押し続けると、曲番が継続してスキップされます。
- スキップサーチはフロントパネルの◀◀/▶▶または▶▶/▶▶でも操作できます。

早送り、早戻しをする（スピードサーチ）

早送り



早戻し



- 早送り、早戻しの操作中も音が出力されるので、聞きたい場所を簡単に探すことができます。
- スピードサーチは一時停止中でも操作できます。ただし一時停止は解除されます。
- スピードサーチはフロントパネルの◀◀/▶▶または▶▶/▶▶でも操作できます。

ディスプレイの表示内容を切り替える

■ 音楽CDを再生しているとき

TIME/INFOを押すごとに (① - ④) のように切り替わります。CD-TEXTディスクの場合は、(⑤ - ⑦) も表示されます。

① 曲ごとの演奏経過時間 (初期設定画面)

CO 11 02:24

② 曲ごとの残り時間

CO 11 -01:46

③ ディスクの総演奏時間 (TOTAL)

CO TTL 24 42:37

④ ディスクの総残り時間 (-TOTAL)

CO TTL 24 -09:56

⑦ タイトルテキスト

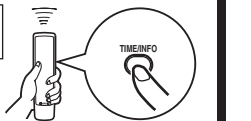
CO DISC TITLE

⑥ アーティストテキスト

CO ARTIST NAME

⑤ トラックテキスト

CO TRACK NAME



メモ

- CD-TEXTディスクによっては、テキスト情報が表示されない場合があります。
- 英数字のみ表示することができます。

■ MP3またはWMAディスクを再生しているとき

TIME/INFOを押すごとに (① - ⑨) のように切り替わります。

① スクロール画面 (初期設定画面)*

MP3 SONG TITLE

② ファイルごとの経過時間

MP3 12 02:31

③ ファイルごとの残り時間

MP3 12 -01:27

④ ファイル名

MP3 FILE NAME

⑤ 曲名

MP3 SONG TITLE

⑨ コメント

MP3 COMMENT

⑧ 年

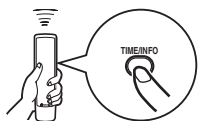
MP3 YEAR

⑦ アルバム名

MP3 ALBUM NAME

⑥ アーティスト名

MP3 ARTIST NAME



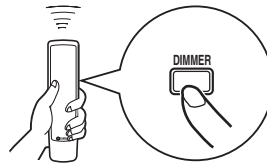
* スクロール画面選択時、トラック名、アーティスト名、アルバム名が順に表示されます。

メモ

- MP3またはWMAディスクによってはID3タグ情報が表示されない場合があります。
- 英数字のみ表示することができます。

ディスプレイの明るさを設定する

DIMMERを押すごとにディスプレイの明るさが3段階で切り替わります。

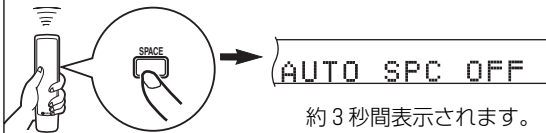


普通の明るさ
↓
やや薄暗い明るさ
↓
薄暗い明るさ

オートスペース

曲間が十分ないディスクをテープ録音した場合、テープ演奏時に正しく頭出し（曲間サーチ）されないことがあります。このような場合、オートスペースを使用して各曲間に約4秒間のスペース（空き時間）を挿入し、デッキで曲間を正しく認識できるようにしてください。

SPACEを押して現在の設定を表示します。



現在の設定が表示されている間に、SPACEを押し「AUTO SPACE ON」と「AUTO SPACE OFF」を切り替えます。

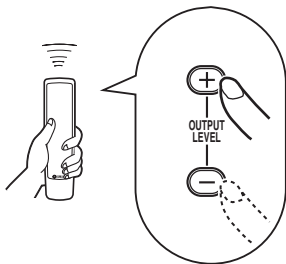
AUTO SPC ON

ご注意

- ディスクの総演奏時間および総残り時間の表示はスペース（空き時間）を加えた時間で表示されます。
- オートスペース設定時、曲間では「AUTO SPACE 4」のメッセージが表示されます。1秒ごとに4度点滅したあと、次の曲の演奏がスタートします。

音声出力レベルを調整する

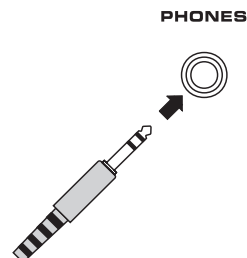
OUTPUT LEVEL +/-でアンプなどへの音声出力レベルを調整します。



ヘッドホンで聞く場合は、ヘッドホンのプラグをPHONES ジャックに接続し、OUTPUT LEVEL +/-で音量を調整します。

ご注意

演奏を開始するときは音声出力レベルにご注意ください。



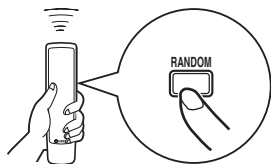
ご注意

MP3/WMAディスクの演奏中は、ディスプレイの表示に関わらず常に最大のレベルでデジタル出力端子に音声が出力されます。

曲を順不同に聞く (ランダム演奏)

ディスク内の曲を順不同で聞くことができます。

ランダム演奏を開始するには
RANDOM を押します。



ご注意

ランダム演奏中に本機の電源を切り、その後再び電源を入れると、ランダム演奏が自動的にはじまります。

ランダム演奏の解除

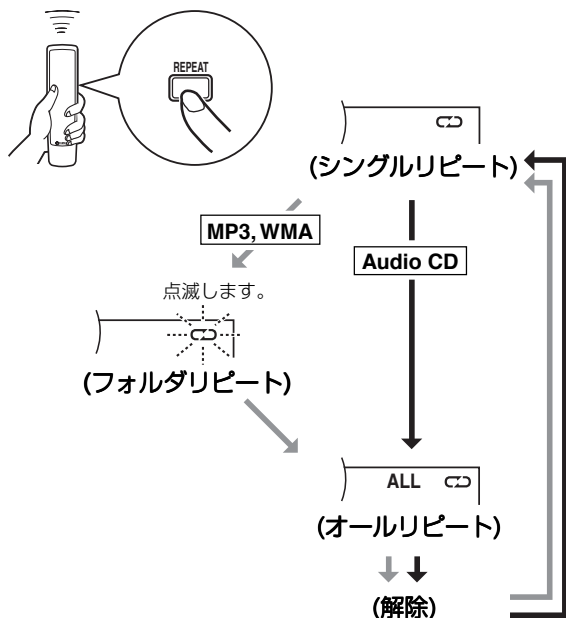
□ または RANDOM を押します。また △ OPEN/
CLOSE を押してディスプレイを開けると解除されま
す。



繰り返し演奏する (リピート演奏)

指定した項目をリピート

REPEAT を押すごとにリピート演奏モードが切り替わります。



↻ (シングルリピート)

指定した1曲、または演奏中の曲を繰り返し演奏します。

* プログラム演奏中またはランダム演奏中もリピート演奏
ができます。

↻ (フォルダリピート) **MP3, WMA**

指定したフォルダを繰り返し演奏します。

ALL ↻ (オールリピート)

ディスクまたはプログラムしたすべての曲を繰り返し演奏
します。

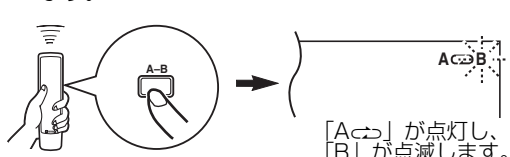
* プログラム演奏中はプログラムされたすべての曲が繰
返し演奏されます。

* オールリピート演奏中に本機の電源を切り、その後再び
電源を入れると、オールリピート演奏が自動的にはじま
ります。

A-Bリピート

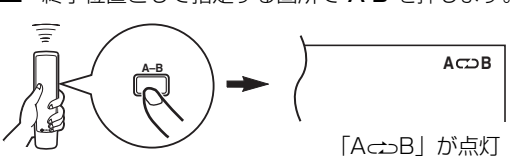
開始位置と終了位置を指定して、その部分を繰り返し演奏することができます。

1 演奏中、開始位置として指定する箇所を **A-B** を押します。



「A↔B」が点灯し、「B」が点滅します。

2 終了位置として指定する箇所を **A-B** を押します。



「A↔B」が点灯します。

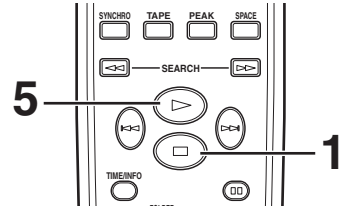
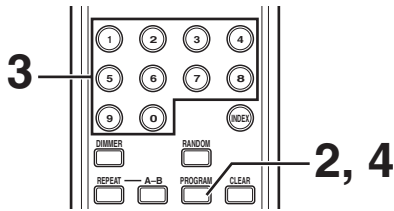
A-Bリピート演奏が始まります。

A-Bリピート演奏をやめるには

A-B を繰り返し押して「A↔B」を消灯させます。

好きな順序で聞く (プログラム演奏)

40曲までプログラムできます。



1 □ を押して停止状態にします。

2 PROGRAMを押します。

3 プログラムする曲を数字キーで選びます。

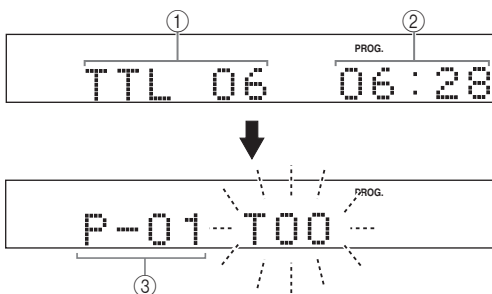
この手順を繰り返して好きな曲をプログラムしてください。同じ曲を2度以上プログラムすることもできます。

MP3, WMA
ファイル番号はフォルダごとではなく、ディスク全体で識別されます。よって、表示されるファイル番号はディスクの曲順と一致します。

4 プログラムが完了したら、PROGRAMを押します。

5 ▷ を押すと、プログラム演奏がはじまります。

プログラム中(手順3)の表示について



- ① プログラムした総曲数を表示します。
- ② 今までプログラムした曲の総演奏時間を表示します。
- ③ 何番目にプログラムされるかを表示します。

プログラム演奏をやめるには

□ を押します。

演奏を再びはじめるには ▷ を押します。プログラムの最初から演奏がはじまります。

プログラムを解除するには

以下のような方法があります。

- 停止状態のときに CLEAR または □ を押す。
- ディスクトレイを開ける。
- 本機の電源を切る。

プログラムした内容を確認するには

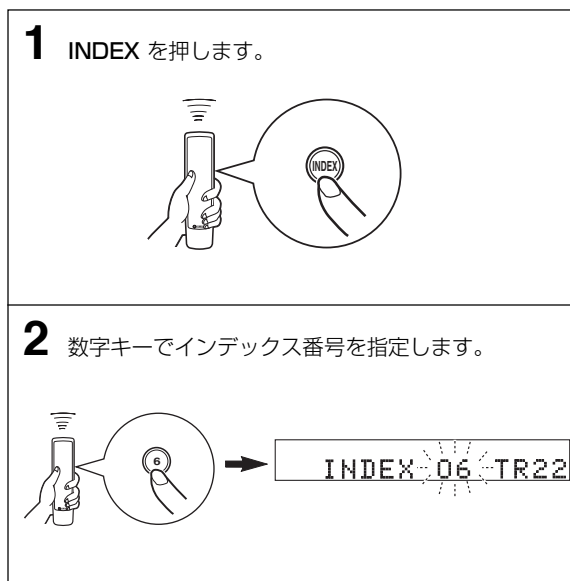
1. プログラム演奏中の場合は、□ を押して停止状態にします。
2. PROGRAM を押します。
3. ▷▷ または ◀◀ を押すごとにプログラムした曲が順次表示され、プログラムを確認できます。

プログラムした内容を訂正するには

1. 「プログラムを確認するには」の手順1–2を行う。
2. ◀◀/▷▷ を押して訂正したい曲番を表示させます。
3. 数字キーで新しい曲番を入力します。訂正前の曲番は消え、新しい曲番が表示されます。
4. PROGRAM を押します。プログラムの訂正が完了しました。訂正後すぐに演奏をはじめるときは、▷ を押します。

インデックスサーチ

インデックス番号が記録されたディスクでは、インデックス番号を指定してそこから演奏をはじめることができます。



インデックスサーチを解除するには

もう一度 INDEX を押します。「INDEX」がディスプレイから消えます。

インデックスについて

1つの曲をさらに小さな部分に区切り、番号付けしたものがインデックスです。インデックスが記録されているディスクには、解説書に (INDEX) マークがついています。

- ディスクによってはインデックス番号の少し手前から演奏がはじまる場合があります。
- インデックスが記録されていないディスクでインデックス番号を指定すると、選ばれている曲の頭から演奏がはじまります。
- インデックス番号は、「INDEX」がディスプレイに点灯しているときのみ指定できます。

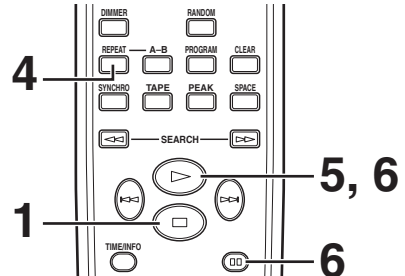
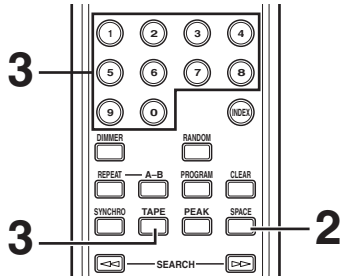
本機のプログラム機能を使ってテープ録音する (テーププログラム)

ディスクをテープに録音するとき便利なプログラム機能です。

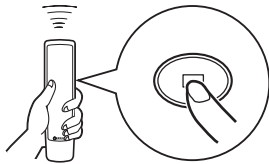
テープの長さを本機にメモリーさせることにより、テープの余り時間を最小限に抑えてプログラムすることができます。

オートテーププログラム (Audio CDのみ)

曲順を変えずに自動選曲をします。



1 □ を押して停止状態にします。

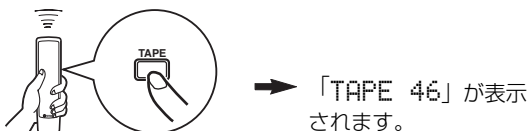


* デッキ側で録音レベルの設定をする際、本機のピークレベルサーチ機能を利用すると便利です。(21ページを参照してください。)

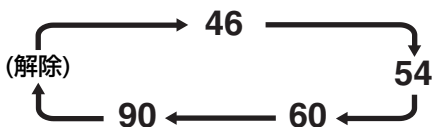
2 必要に応じて **SPACE** を押し、各曲間に約4秒間のスペースを挿入します。(12ページを参照してください。)



3 **TAPE** を押します。

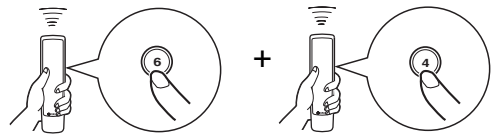


TAPE を押すごとに、テープの長さ (テープの時間) の表示が次のようになります。使用するテープの長さと同じものを選んでください。

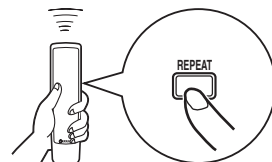


使用するテープの長さが表示されない場合は、数字キーでテープの長さを入力します。

(例) C-64のカセットテープ (片面32分) の場合「6」、「4」と続けて押します。



4 **REPEAT** を押します。



選択したテープの長さに応じて、A面、B面に録音する曲が自動的にプログラムされます (曲順は変更しません)。

5 デッキを操作してテープA面の録音をはじめ、すぐに本機の **▶** を押します。オートテーププログラム演奏がスタートします。

6 テープのA面に録音する曲の演奏が終了すると、本機は一時停止 (ポーズ) 状態になります。デッキ側のテープをB面に入れ替え、本機の **▶** または **⏻** を押します。

メモ

- 手順 4 で REPEAT を押すと、A面、B面それぞれのプログラム結果がディスプレイに約 3 秒間表示されます。



- ① プログラムされた曲数を表示します。
 - ② プログラムされた曲の総演奏時間を表示します。
 - ③ A面またはB面を表示します。
- テーププログラムの確認、訂正、解除については16ページを参照してください。
 - * テーププログラムを確認しているときにA面、B面の間に「Pu」の表示がでます。
 - 最大40曲までプログラムすることができます。ただし、A面からB面への切り替え時に挿入される一時停止状態（ポーズ）も1プログラムとして数えられます。
 - 使用するデッキがシンクロ録音対応デッキの場合は、手順 5 と 6 にてシンクロ録音が可能です。（22ページを参照してください。）

ご注意

すべての曲を録音するために、ディスクの総演奏時間に対して十分な長さのテープを使用してください。

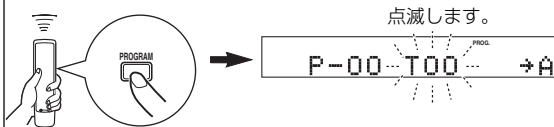
マニュアルテーププログラム (Audio CDのみ)

好きな曲を好きな順序で録音をすることができます。

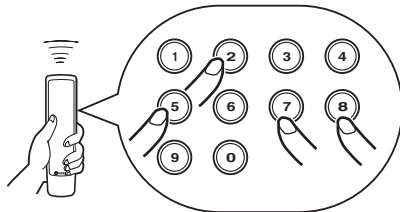


1 17ページの「オートテーププログラム」の手順1-3と同じ操作をします。

2 PROGRAM を押します。



3 テープA面に録音したい曲を好きな順に数字キーで選びます。



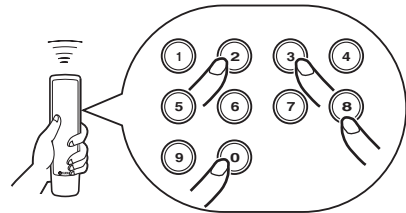
選ばれた曲番がディスプレイに点灯します。

4 TAPE を押します。

一時停止 (ポーズ) 状態が挿入され、テープB面に切り替わります。



5 テープB面に録音したい曲を好きな順に数字キーで選びます。



6 PROGRAM を押します。

7 デッキを操作してテープA面の録音をはじめ、すぐに本機のリモコンの▶を押します。テーププログラム演奏がスタートします。

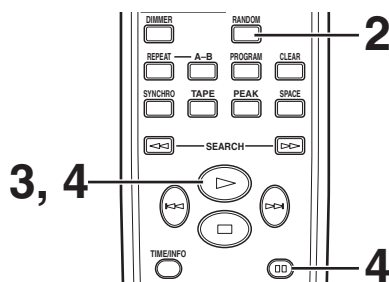
8 テープのA面に録音する曲の演奏が終了すると、本機は一時停止 (ポーズ) 状態になります。デッキ側のテープをB面に入れ替え、本機の▶または⏏を押します。

ご注意

- テープ片面の残り時間を超える曲番を入力すると「Err」(エラー) 表示をして受け付けません。
- 手順3と5において選曲することにより、その曲番とテープの残り時間が表示されたあと、次のプログラムの入力待ちの表示が変わります。
- テーププログラムの確認、訂正、解除について詳しくは16ページを参照してください。
* テーププログラムを確認しているときにA面、B面の間に「Pu」の表示がでます。
- 最大40曲までプログラムすることができます。ただし、一時停止状態 (ポーズ) の挿入は1プログラムとして数えられます。
- 使用するデッキがシンクロ録音対応デッキの場合は、手順7と8にてシンクロ録音が可能です。(22ページを参照してください。)

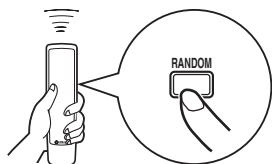
ランダムテーププログラム (Audio CDのみ)

順不同に選曲された曲を録音することができます。



1 17ページの「オートテーププログラム」の手順1-3と同じ操作をします。

2 **RANDOM** を押します。



選択したテープの長さに応じて、A面、B面に記録する曲が自動的にプログラムされます。

3 デッキを操作してテープA面の録音をはじめ、同時に本機のリモコンの▶を押します。

4 テープのA面に録音する曲の演奏が終了すると、本機は一時停止（ポーズ）状態になります。デッキ側のテープをB面に入れ替え、本機の▶または⏏を押します。

ご注意

ランダムテーププログラムでは、使用するテープの長さがディスクの総演奏時間に対して余裕の少ないときは、ランダム組み合わせにより収録できない曲がでることがあります。そのときは、**TAPE** と **RANDOM** を何度か押して、全曲が収録される組み合わせにしてから録音をはじめてください。また、テープの長さを変更するときは、**TAPE** を押してください。

メモ

- 手順2において、**RANDOM** を押したのち、A面、B面それぞれのプログラム結果がディスプレイに約3秒間表示されます。



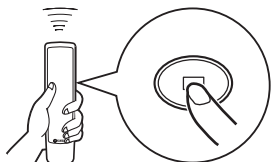
- ① プログラムされた曲数を表示します。
- ② プログラムされた曲の総演奏時間を表示します。
- ③ A面またはB面を表します。

- 最大40曲までプログラムすることができます。ただし、A面からB面への切り替え時に挿入される一時停止状態（ポーズ）は1プログラムとして数えられます。
- 使用するデッキがシンクロ録音対応デッキの場合は、手順3と4にてシンクロ録音が可能です。（22ページを参照してください。）

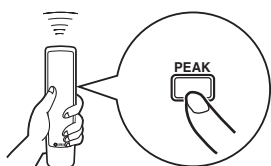
ピークレベルサーチ (Audio CDのみ)

ディスク内の音量レベルが最も大きいところを自動的に検出し、繰り返し演奏します。
この機能はテープに録音する際、デッキの録音レベルを調整するときに役立ちます。

1 □ を押して停止状態にします。



2 PEAK を押します。



↓

ディスプレイに「PK」が点灯し、ピークレベルサーチが始まります。(サーチは、約2~3分間おこなわれます。)

PK 3 01:36

↓

サーチ終了後、その部分を繰り返し (リピート) 演奏します。この演奏をもとに、デッキ側で録音レベルを調整してください。

PK 8 04:27

ピークレベルサーチを解除するには
□ を押します。

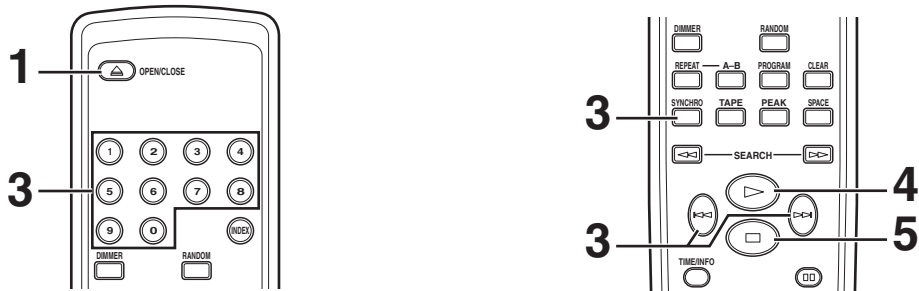
ご注意

同じディスクでピークレベルサーチを2回以上おこなった場合、同じ部分が選ばれないことがあります。これは内蔵のマイクロコンピュータが、その都度ランダムに何ヶ所かのポイントを選び出し、その中で音量レベルの比較をおこなうためです。

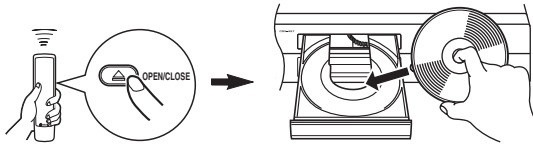
本機の演奏に連動させてテープ録音する (シンクロ録音)

シンクロ録音機能を使うと、テープ録音が簡単かつ正確におこなえます。

- * シンクロ録音には、シンクロ録音対応のヤマハテープデッキが必要です。(使用するデッキがシンクロ録音対応かどうかは、デッキの取扱説明書を参照してください。)
- * シンクロ録音では、本機に付属のリモコンからの信号を、本機とデッキが同時に受信する必要があります。そのため本機とデッキは必ず近づけて設置してください。

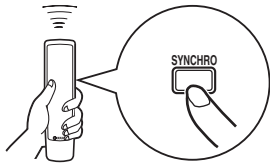


1 △ OPEN/CLOSE を押してディスクトレイを開け、ディスクをセットします。



2 デッキにテープをセットします。
* 本機のピークレベルサーチ機能は、デッキの録音レベルを調整するのに便利です。(21ページを参照してください。)

3 SYNCHRO を押します。

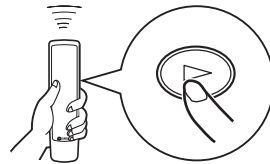


本機が一時停止 (ポーズ) 状態になり、デッキは REC/PAUSE 状態になります。
* ディスプレイの演奏時間表示が点滅します。

必要に応じて、数字キーまたは ◀◀ / ▶▶ を押して選曲します。



4 ▷ を押します。



ディスクの演奏とテープ録音が始まります。
* ディスクの演奏より少し前から録音が始まります。

5 録音を一時停止し、選曲して録音を再開する場合は、手順 3、4 を繰り返してください。

シンクロ録音機能を解除するには
□ を押します。

メモ

- 録音を終了、または停止させるには、テープデッキ側で適切な操作をしてください。(詳しくは、お手持ちのテープデッキの取扱説明書を参照してください。)
- プログラムされた曲を録音する場合にも、シンクロ録音が使えます。(15-16ページを参照してください。)
- この機能はオートテーププログラムと合わせて使用できます。(17-18ページを参照してください。)

故障かな？と思ったら

本機をご使用中に正常に動作しなくなったときは、下記の事項をご確認ください。その上で正常に動作しない、あるいは下記以外で何か異常が認められた場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点まで、お問い合わせください。

症状	原因	対策
電源スイッチを押しても電源が入らない。	電源プラグの差し込みが不完全である。	電源プラグをコンセントにしっかり差し込み直してください。
ディスクトレイが完全に閉らない。	ディスクトレイに異物が入っている。	ディスクトレイを確認し異物を取り除いてください。
ディスクを入れても演奏できない。	ディスクが裏返しにセットされている。	ディスクのレーベル面を上にして入れてください。
	ディスクに汚れやキズがある。	ディスクを取り替えてください。
	ディスクがひどく汚れている。	クリーニングしてください。
	正しく録音されていないCD-RWディスクを使用している。	正しく録音され、本機に対応した信頼できるディスクを使用してください。
	本機に対応していない規格外のディスクを使用している。	ディスクを取り替えてください。
	ディスクに汚れやキズがある。	
△ OPEN/CLOSE を押してもディスクトレイが開かない。	本体の内部に異物をはさまっている場合があります。	販売店または弊社サービスセンターへご相談ください。
演奏が遅れて始まったり、正しくない位置から始まる。	出力コードの接続が不完全。	接続を確認してください。
音が出ない。	アンプの操作が間違っている。	アンプのスイッチの位置を確認してください。
	OUTPUT LEVEL+/- が絞られている。	OUTPUT LEVEL+/- で音量を調節してください。
音飛びをする。	本機が振動やショックを受けている。	設置場所を変えてください。
	ディスクがひどく汚れている。	クリーニングしてください。
ブーンというハム音が出る。	出力コードのプラグの接続不良。	出力コードのプラグをしっかりと差し込みなおしてください。
チューナーにノイズが入る。	本機とチューナーの設置場所が近い。	チューナーから遠ざけるか、または本機の電源を切ってください。
ヘッドホンから音が出ない。	OUTPUT LEVEL+/- が絞られている。	OUTPUT LEVEL+/- で音量を調節してください。
リモコンユニットでは操作できない。	乾電池が消耗している。	乾電池を2本とも交換してください。
	リモコンユニットが受光部に向いていない。	リモコンユニットを受光部に向けてキーを押してください。
	操作する位置が本体から遠すぎるか、または角度が正しくない。	リモコンは本体から6m以内の距離にて、また本体正面より左右それぞれ30°以内の角度にて操作してください。
	受光部に強い日光や照明（インバータ蛍光灯など）が当たっている。	受光部に強い光が当たらないように本機の置き場所や方向、または照明の位置を変えてください。
リモコンを操作すると、テレビが正常に動作しなくなる。	リモコン受光部のあるテレビのそばでリモコンを使用している。	本機をテレビから離して設置するか、またはテレビのリモコン受光部をカバーなどで覆ってください。

主な仕様

周波数特性

周波数特性	2 Hz ~ 20 kHz, ± 0.5 dB
高調波歪率 (1 kHz)	0.003% 以下
S/N比 (EIAJ)	105 dB 以上
ダイナミックレンジ	95 dB 以上
出力電圧 (1 kHz, 0 dB)	2.0 ± 0.5 V
フラ・フラッター	測定検知限以下
ヘッドホン出力 (0 dB)	660 ± 100 mV/32 Ω

レーザー部

レーザータイプ	GaAlAs
波長	780 nm
レーザー出力	最大 44.6 μ W

総合

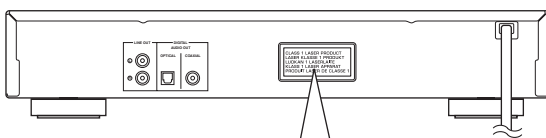
電源	100V, 50/60 Hz
消費電力	13 W
外形寸法 (W×H×D)	435 x 87 x 287 mm
質量	3.5 kg

* 仕様および外観は改良のため予告なく変更をすることがあります。

本機は「JIS C 61000-3-2」適合品です。JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性第3-2部：限度値—高調波電流発生限度値（1相当あたりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

ご注意

この取扱説明書に記載されている以外の調節や操作は、有害な放射を引き起こす可能性があります。

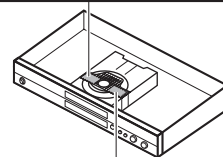


CLASS 1 LASER PRODUCT
LASER KLASSE 1 PRODUKT
LUOKAN 1 LASERLAITE
KLASS 1 LASER APPARAT
PRODUIT LASER DE CLASSE 1

ご注意

この部分を開くと可視および不可視のレーザー光がでます。ビームを直接見たり、触れたりしないでください。

CAUTION - INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN AND INTERLOCKS DEFEATED, AVOID EXPOSURE TO BEAM.
VORSICHT! UNSICHTBARE LASERSTRAHLUNG TRITT AUS, WENN DECKEL GEÖFFNET UND WENN SICHERHEITSPERREGELUNG ÜBERBRÜCKT IST. NICHT DEM STRAHL AUSSETZEN!
VARNING - OSYNLIG LASERSTRÅLNING NÄR DENNA DEL ÄR ÖPPNAD OCH SPÄRR ÄR URKOPPLAD. STRÅLEN ÄR FARLIG.



ADVARSEL - USYNLIG LASERSTRÅLING VED ÅBNING, NÄR SIKKERHEDSAFBRYDERE ER UDE AF FUNKTION. UNDGÅ UDSÆTTELSE FOR STRÅLING.
VAROITUS! - SUOJAKOTTEL OSAI SAA AVATA, LAITE SISÄLTÄÄ LASERDIODIN, JOKA LÄHETTÄÄ (NÄKYMÄTÖNTÄ) SILMILLE VAARALLISTA LASERSÄTELYÄ.
ADVARSEL - USYNLIG LASERBESTRÅLING NÄR DENNE DELEN ER ÅPEN OG SIKKERHETSSPERRER ER UTKOBLET. UNNGÅ UTSETTELSE FOR STRÅLING.

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただくためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

ヤマハAV製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

■ ヤマハオーディオ&ビジュアルホームページ

お客様から寄せられるよくあるご質問をまとめておりますので、ご参考にしてください。

<http://www.yamaha.co.jp/audio/>

■ お客様ご相談センター

ナビダイヤル (全国共通)  **0570-01-1808**

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHSからは下記番号におかけください。

TEL (053) 460-3409

FAX (053) 460-3459

〒430-8650 静岡県浜松市中沢町10-1

受付日：月～土曜日(祝日およびセンターの休業日を除く)

受付時間：10:00～12:00、13:00～18:00

ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせ

■ ヤマハ電気音響製品修理受付センター

ナビダイヤル (全国共通)  **0570-01-2808**

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

FAX (053) 463-1127

受付日：月～土曜日(祝日およびセンターの休業日を除く)

受付時間：月～金曜日 9:00～19:00 土曜日 9:00～17:30

修理お持ち込み窓口

受付日：月～金曜日(祝日および弊社の休業日を除く)

受付時間：9:00～17:45

北海道 〒064-8543 札幌市中央区南10条西1丁目1-50

ヤマハセンター内

FAX (011) 512-6109

首都圏 〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1

京浜トラックターミナル内14号棟A-5F

FAX (03) 5762-2125

浜松 〒435-0016 浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場内

FAX (053) 462-9244

名古屋 〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2丁目1-2

ヤマハ(株)名古屋倉庫3F

FAX (052) 652-0043

大阪 〒564-0052 吹田市広芝町10-28

オーク江坂ビルディング2F

FAX (06) 6330-5535

九州 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2丁目11-4

FAX (092) 472-2137

*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

● 保証期間

お買い上げ日から1年間です。

● 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

● 修理料金の仕組み

技術料 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。

部品代 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

● 補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● 製品の状態は詳しく

サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。

※ 品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。

● スピーカーの修理

スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

● 摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。

本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。

摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ電気音響製品修理受付センターへご相談ください。

摩耗部品の一例

ポリウムコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※ このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

永年ご使用の製品の点検を!



愛情点検

こんな症状はありませんか?

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズか変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中沢町10-1

